

2024. 2. 20 (火) 実施

D国1 (一般・留学生)

2024年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士後期課程)

科目：英語【言語・国際交流研究分野】(辞書使用不可)

[問題番号 D1] 田中 牧郎 教授 研究指導志願者対象

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。

明治期の翻訳借用についてまとめた次の英文の要点を述べた上で、この時期の語彙を研究する際に重要だと考える論点をいくつか挙げ、研究の展望を述べなさい。

この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

出典：

Frellesvig, Bjarke. 2010. *A History of the Japanese Language* pp.408-410. Cambridge University Press

2024. 2. 20 (火) 実施

D国2 (一般・留学生)

2024年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士後期課程)

科目：英語【文化・思想研究分野】 (辞書使用不可)

【問題番号 D2】 美濃部 仁 教授 研究指導志願者対象

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。

次の文章は、コプルストン『哲学史』のフィヒテについての叙述の一部である (Frederick Copleston, *A History of Philosophy, Volume 7 Modern Philosophy, Part I Fichte to Hegel*, Image Books Edition, New York 1965, pp. 78-80)。そこでコプルストンが指摘しているフィヒテ哲学の問題点を簡単にまとめた上で、それについて自分の見解を述べなさい。解答は日本語で書くこと。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。